

H16_ 都市における総合的な公園緑地施策の展開方策に関する調査

調査項目 都市における総合的な公園緑地施策の展開方策に関する調査

調査年次 平成16年度(5次調査) 章番号〔 〕

目的

都市緑地保全法と都市公園法の一部改正を受け、公園施策の実態把握を基礎として、環境・観光・レクリエーションや社会経済的側面からみた効果分析によって、総合的な公園緑地施策の展開方向を検討する。

概要

地域制緑地と都市公園の一体的運用の事例調査の中から、一体的緑地の形成の候補地区における展開の可能性と課題を整理し、緑地保全・緑地創出の一体的運用の方策の検討を行った。

結果

地域制緑地等と都市公園の一体的運用に関する基本的な課題

「現状凍結型緑地保全から順応型管理・育成へ」、「市民参加の対応」、「緑地活用事業の充実」、「緑地創出型一体事業の取り組み」、「財源確保」

都市緑地保全法等の改正を受けた一体的緑地形成の候補地区の事例のまとめ

候補地区 千葉市(柏井市民の森) 横浜市(アメリカ山公園、京阪臨海公園) 名古屋市(天白土原地区、城山・覚王山地区、東山地区、戸田川周辺地区)

立体公園制度によってネットワークを強化し一体的な緑地の形成を図ろうとしている地区や、借地公園制度と共有緑地制度との連携によって一体的な緑地の形成を進めようとするものが見られた。

立体公園制度には建ぺい率の問題、借地公園制度には持続性に関する問題があげられた。

城山・覚王山地区では、まとまりのある緑、防災拠点としての活用、市民を巻き込んだ緑地形成や活用が期待されるが、宗教施設にある緑地が多くその扱いについての考え方の再整理が必要。

総合的な公園緑地施策の展開方策に関する調査のまとめ

多様な組み合わせによる緑地保全と緑地活用の工夫がなされ、特に緑地保全地区(特別緑地保全地区)と都市公園の重複運用事例は多く、その効果も実証された。

一体運用の課題として、保全が基調となる緑地の維持管理、運用管理に係る方策の充実が必要。

緑地保全・緑地創出の2面から一体的運用のこれからの方策等

「まもる」から「活かす」へ 守るために効果的であった多元多重方式は活かす(管理と活用)面では効果的でないという指摘もあり、活かすための施策の充実が待たれる。制度拡充の効果等を検証するために、六甲山系等をモデルとして多元多重型緑地保全をフォローアップする管理運営のあり方に関する具体的なシミュレーション検討が必要である。

「緑地創出型施策の強化」 既存制度の活用がどこまで可能か、個別施策の柔軟な運用でできることは何か、新規施策が必要な領域はどこか等々具体的な検討が必要で、新しい緑の拠点づくりを推進するまちづくり事業として総合的・統括的調査事業や補助事業が必要である。

課題

- ・緑地保全型緑地形成にかかるモデル地区を対象としたシミュレーション検討を踏まえ、具体的な拠点緑地形成支援策を提案すること
- ・緑地創出型緑地形成と緑のネットワーク形成に資するモデル地区の検討により、具体的な拠点緑地形成等の手法を見出すこと
- ・市民との連携による緑地を活かす方策の検討
- ・相続で失われる緑地を守り、活用する方策の検討(適正な税制の適用に関する調査)

調査結果の反映等

調査項目 都市における総合的な公園緑地施策の展開方策に関する調査

調査年次 平成16年度(5次調査) 章番号〔 〕

キーワード

公園制度、地域制緑地、都市公園、一体的運用、総合的な公園緑地施策、立体公園、借地公園

事例公園等

札幌市 東月寒緑地、富丘西公園、清田南公園、清田緑地、真栄東公園、天神山緑地、宮丘公園、西野西公園

仙台市 海岸公園、水の森公園、高森山公園、青葉の森緑地、与兵衛沼公園、経ヶ峰公園、大年寺山公園、青葉山公園

千葉市 泉自然公園

横浜市 新治里山公園、アメリカ山公園、港の見える丘公園、元町公園、山下公園、外国人墓地

川崎市 久末緑地、小沢城址緑地、久末東緑地、井田山緑地、久末イノ木緑地、久地緑地

名古屋市 八竜緑地、花水緑の公園通り、城山公園、東山公園、平和公園、平和が丘特別緑地保全地区、編輪公園南部特別緑地保全地区、東山公園天白溪湿地特別緑地保全地区、天白公園、戸田川緑地、富田公園

神戸市 玉鬼城展望公園

広島市 元宇品公園

北九州市 (仮称) 櫓山荘公園